

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 9 日作成)

小委員会名	鋼構造座屈小委員会		主 査 名：井戸田秀樹 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：多田元英
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>新たな設計概念の創出に対応できるよう、鋼構造物の設計を支配する安定・不安定問題を継続的に研究する。</p> <p>初年度：『鋼構造物の座屈に関する諸問題2013』を再レビューし、『鋼構造座屈設計指針』改定に向けて検討すべきテーマの絞り込みを行う。</p> <p>2 年度：各テーマの再検討を実施し、委員会内での意見交換を行いながら修正、充実させる。</p> <p>3 年度：とりまとめた内容を大会PDで公表し、内外の意見を問うとともに、改定原稿の執筆を行う。</p> <p>4 年度：改定原稿の査読、修正を実施し、出版に結びつける。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：井戸田秀樹 (名古屋工業大学) 幹事：宇佐美徹 (竹中工務店) 委員：竹内 徹 (東京工業大学)、小崎 均 (日建ハウジングシステム)、五十嵐規矩夫 (東京工業大学)、荒木慶一 (京都大学)、津田恵吾 (北九州市立大学)、金尾伊織 (京都工芸繊維大学)、木村祥裕 (東北大学)、田川 浩 (広島大学)、藤本益美 (大阪市立大学)、倉田真宏 (京都大学)、松井良太 (東京工業大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価 WG：</p> <p>部材の座屈性能評価の高度化を目指し、実験データの収集、データベースの作成、既存の性能評価式への適用を検討する。</p>		
2016 年度予算	420,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：<a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s39/">http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s39/</a></p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 『鋼構造座屈設計指針』(第 4 版、2017 年刊行予定) 本文原案について、本会 HP で会員への意見募集を行った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 当初の活動計画 (4 年度)：改定原稿の査読、修正を実施し、出版に結びつける。</p> <p>2. 成果：座屈設計指針改定版の小委員会査読、運営委員会査読、構造本委員会査読を経て 2017 年 5 月末に脱稿の予定。達成度は現時点で 90% である。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. なし